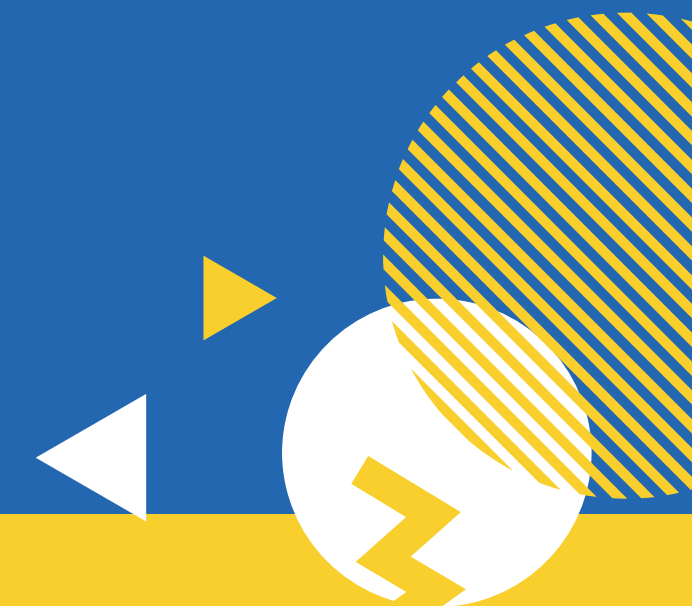




地域のリソースを活用した避難者支援

神田すみれ

自己紹介

多文化ソーシャルワーカー
コミュニティ通訳者

愛知県多文化ソーシャルワーカー養成講座修了(2009年)

愛知県出身。交換留学生として渡米。現地の公立高校、州立大学を卒業後、台湾で日本語教師として勤務後帰国。名古屋大学国際開発研究科博士前期課程終了、同研究科特任助教を経て、愛知労働局にて外国人雇用管理アドバイザーを務めるなど、行政機関で相談員、通訳者として多文化共生、外国人支援活動に携わる。

愛知労働局名古屋外国人雇用管理アドバイザー

犬山市役所外国人相談員

あいち多文化共生推進会議委員

犬山市多文化共生推進会議委員

NPO法人地域と協同の研究センター研究員

金城学院大学、名古屋外国語大学、愛知淑徳大学、中京大学、愛知県立大学非常勤講師

愛知県立大学大学院 人間発達学研究科 博士後期課程

愛知県立大学 生涯発達研究所・多文化共生研究所 研究協力者

○著書

「循環型人材確保・育成とベトナムとの国際協力」(4章)クリエイツかもがわ, 2022年

「コロナの影響と政策- 社会・経済・環境の観点から-」(8章)創成社, 2022年

「自治体がひらく日本の移民政策【第2版】(愛知県担当)明石書店, 2024年

プロフィールサイト



多文化ソーシャルワーカー

外国人が自国の文化と異なる環境で生活することにより
生じる心理的・社会的問題に対して、ソーシャルワークの専門性を活かし、相談から解決まで継続して支援する人

出典：愛知県国際交流協会「相談窓口担当者のための「多文化」ってこういうこと」

多文化ソーシャルワーカーとしての活動とウクライナ避難民支援の経緯

- ・東日本大震災避難者支援
- ・難民支援
- ・チェルノブイリ原発事故後の支援

2022年3月11日の東日本大震災被災者の追悼式
毎週のオンラインミーティング



避難民への支援
日本ウクライナ文化協会のサポート

ウクライナ避難民受け入れ自治体、支援団体、避難民を訪問

受け入れ自治体の訪問と自治体職員へのサポート
地域での受け入れ

自治体職員によるサポート 事例Ⅰ

ウクライナ国籍ではない避難民の受け入れ
支援がない中での担当課職員の対応

- ・ ハローワークへの同行、履歴書作成のサポート、面接の同行
- ・ 家具家電の寄付を庁内職員へ呼びかけ
- ・ 孤立させない：日常的な傾聴（来庁できる関係性）
- ・ イベントへのお誘い、誕生日のお祝い
- ・ 空港の送迎
- ・ 帰国後の公営住宅の手続き、光熱費の支払い、確定申告の手続き

避難民との顔合わせの工夫

専門家（臨床心理士、精神科医、母語・継承語）による助言の場（オンライン）

就労先の開拓、面接同行

給湯器、家具の寄付

傾聴

市民への帰国費用の呼びかけ

自治体職員によるサポート 事例2

未就学児と母親

- ・ 訪問への同行
- ・ 身元引受人と、避難民とのコミュニケーション
- ・ 保育園との連携、個人懇談への同席
- ・ 小学校との連携



企業の工夫

指差し表
職場の指示言語の併記
自動翻訳機能の活用

訪問
就労先企業へのフォロー、定着支援
ポケットークの寄付による提供
子どもの日本語学習サポート

自治体職員によるサポート 事例3

- ・ 国際交流協会、福祉課、教育委員会、社会福祉協議会の連携
- ・ 小学校への訪問、教員とのコミュニケーション
- ・ 日本語教室
- ・ 福祉制度
- ・ 就労の可能性の模索、サポート

役所での顔合わせ
専門家（臨床心理士、精神科医、母語・継承語）による助言の場
（オンライン）

そのほかにも…

- ・ 中学校との連携 制服について
- ・ 生活保護制度
- ・ 図書館で本を借りて毎月訪問をする
- ・ 就業先の飲食店に定期的に食事に行く
- ・ 雇用をつくり、定期的に訪問、定着支援
- ・ 誕生日のお祝い（家族で）
- ・ 日本語教室への紹介、教室への定期訪問
- ・ 企業、地域の事業所への雇用のよびかけ、ハローワークへの同行
- ・ LINEで個別につながり、生活支援、緊急対応

地域での取り組み事例

一般社団法人 JUNTOSによる
公営住宅の集会所でのウェルカムパーティー

- ・ウクライナ避難民
- ・地域住民
- ・コミュニティセンターの職員
- ・国際交流協会の職員
- ・大学生と大学教員

- ・これまでの積み重ねと経験
- ・すでにある活動や制度
- ・地域・市民の持つつながりや専門性

- ・定住化に必要な支援制度の整備
- ・日本社会の難民受入れの現状
- ・社会の意識変容